

各歴

- 明治29年(1896) 重森元治郎、つるの長男として吉川村小茂田で生まれる。名は、計夫(かずお)。
- 正2年(1913) 自宅に茶室を設計する(後に重森三玲記念館横に移転した「天籟庵」)
- 正8年(1919) 日本美術学校卒業
- 正12年(1923) 東洋大学卒業
- 正14年(1925) 三玲と改名
- 和4年(1929) 京都に移住
- 和7年(1932) 京都林泉協会創設
- 和8年(1933) 「京都美術大観—庭園篇」発刊
- 和11年(1936) 「日本庭園史図鑑」発刊(1936~1939)
- 和14年(1939) 京都府東福寺方丈庭園、光明院庭園完成
- 和44年(1969) 京都詠友禅工業協同組合展示場中庭に「友琳の庭」完成(後に吉備中央町賀陽庁舎へ移築)
- 和46年(1971) 「実測図日本の名園」発刊
「日本庭園史大系」発刊(1971~1976)
- 和47年(1972) 大阪府豊国神社秀石庭庭園、山口県鹿苑山漢陽寺庭園完成
- 和48年(1973) 「茶室茶庭辞典」発刊
- 和50年(1975) 京都府松尾大社庭園完成 79歳没



しげもりみれい
重森三玲記念館



記念館展示コーナー

重森三玲氏が作庭の鑑賞と価値を高めるため結成した「京都林泉協会」(京都市)の協力で「日本庭園史大系」など多数の著作や鹿苑寺(通称金閣寺)をはじめとする著名庭園実測図などを収蔵しています。また、書画なども多く収蔵されています。



- ◆入館料 無料
- ◆開館時間 月~金 9:00~16:00
日曜・祝日 10:00~15:00
- ◆閉館日 毎週土曜日、年末年始(12/28~1/4)

重森三玲パネル展示室

吉川公民館(記念館横)の中に重森三玲氏の作品のパネルを展示しています。お気軽にご覧下さい。



- ◆入館料 無料
- ◆開館時間 月~金 9:00~16:00
日曜・祝日 10:00~15:00
- ◆閉館日 毎週土曜日、年末年始(12/28~1/4)

交通のご案内



- ◆JR「岡山駅」から車で40分
- ◆山陽自動車道「岡山 I.C.」から車で30分
- ◆岡山自動車道「賀陽 I.C.」から車で10分
- ◆岡山空港から車で20分



お問い合わせ **吉備中央町 協働推進課**
〒716-1192 岡山県加賀郡吉備中央町豊野1-2
TEL (0866) 54-1301
FAX (0866) 54-1311

このパンフレットの作成には、入湯税が利用されています。

作庭家・庭園史家

重森三玲の世界



しげもりみれい
重森三玲 (1896~1975)
Mirei Shigemori



明治29年(1896)生~昭和50年(1975)没。
岡山県上房郡吉川村(現吉備中央町吉川)生まれ。
昭和を代表する造園学者で独特の日本庭園を創作。
日本の伝統美である茶道、華道の奥義を極め、造園学者として日本庭園界に多大なる功績を残しました。

友琳の庭(吉備中央町賀陽庁舎 2002年移築)



重森三玲の世界をご案内します



① 友琳の庭

昭和44年(1969年)に重森三玲氏により、京都友琳会館に作庭された庭園で、平成14年(2002年)に吉備中央町賀陽庁舎へ移築されました。「友琳の庭」は、友禅染を完成させた宮崎友禅齋の「友」と尾形光琳の「琳」の文字を組み合わせて命名されたものです。庭の様式は池泉鑑賞式の庭園です。中庭には東ね熨斗を基本としてアレンジしたデザインの池庭、池水は浅く透明度を高くし螺旋状に流動するようにしています。北側の庭は「天の橋立」をデザインしています。

- ◆入館料 無料
- ◆開館時間 月～金 9:00～16:00
日曜・祝日 10:00～15:00
- ◆閉館日 毎週土曜日、年末年始(12/28～1/4)



② 西谷邸

「旭楽庭」【きょらくてい】と名付けられている庭は、昭和4年春、重森三玲氏の設計指導により作庭されたものです。書院南東庭で南方の山々の景観がバックとされ、これに石組と刈込植栽とを配し、流れの景観とされています。三玲氏が本格的に庭園研究をする前に作庭した数少ない庭の1つです。

- ◆昭和4年(1929)に作庭
- ◆お問い合わせ：吉備中央町 協働推進課 TEL(0866)54-1301



③ 小倉邸

「曲駕庭」【きょくどうてい】と名付けられている「小倉邸庭園」は、昭和26年に作庭されたもので、従来の神仙表現とは異なる手法が用いられ、全体は蓬莱神仙【ほうらいしんせん】の世界を表現しています。庭園内には杉苔で囲まれた3つの人性的な石組があり、書院から見て、奥から蓬莱石組(八石組で真)、その左手前側の集団が方丈【ほうじょう】石組(七石組で行)、その右側が瀛洲【えいじゅう】(五石組で草)を表しています。蓬莱神仙の世界観に真行草ということをあてはめると新しい表現方法による庭園であり、また、全体的な形態も盆石的な意味合いから配置の妙を感じる庭園です。

- ◆昭和26年(1951)に作庭
- ◆お問い合わせ：吉備中央町 協働推進課 TEL(0866)54-1301



⑤ 功德庵

重森三玲の生家跡



④ 天籟庵

大正2年(1913)、重森三玲氏が18歳の時に取り組んだ処女作であり、現在は生家から重森三玲記念館横に移築されています。四畳半の茶室と三畳間に値する広さの水屋から構成されており、茶庭は移築時に作られ、地面には水流と渦が彩色セメントであしらわれ、海と陸とを抽象化した意匠を表現しています。

- ◆入館料 無料
- ◆開館時間 月～金 9:00～16:00
日曜・祝日 10:00～15:00
- ◆閉館日 毎週土曜日、年末年始(12/28～1/4)



⑤ 功德庵

重森三玲氏が64歳の時の作品である。岡山市内、立岡邸へ築造されていたが、寄贈を受け、平成11年(1999)に大村寺へ移築されています。この茶室は、重森三玲畢生の最高傑作であるといわれています。

- ◆入館料 無料
- ◆開館時間 月～金 9:00～16:00
日曜・祝日 10:00～15:00
- ◆閉館日 毎週土曜日、年末年始(12/28～1/4)